

KITOKU ACADEMY

【01】自分の九星を知る

KITOKUで「あなた」を深く読み解く

このPDFは、占いの結果を丸暗記するための資料ではありません。生年月日から出てくる星を手がかりに、自分の外側の顔、内側の本音、隠れた才能、社会で求められる役割を分けて見ていくための入門ガイドです。

最初から全部を理解しようとしなくて大丈夫です。まずは全体を眺め、次にKITOKUの画面と並べて読み、気になったところだけ辞書のように戻ってください。星はあなたを縛るラベルではなく、現在地を確認するための羅針盤です。

1. まず何をするのか

KITOKUの入口はシンプルです。生年月日と性別を入れるだけで、本命星・月命星・傾斜・同会・納音が表示されます。難しい言葉が出てきても、最初は「いくつかの角度から自分を見る仕組み」だと捉えれば十分です。

ステップ	見るところ	受け取り方
1	生年月日・性別を入力	まず自分の星を表示します。細かい意味は後からで大丈夫です。
2	本命星と月命星	外に出る自分と、内側で安心する自分を見比べます。
3	傾斜・同会・納音	隠れた才能、社会での舞台、個性の響きを足して読みます。
4	パーソナルレポート	今年のテーマや強みを、日常の行動に落とし込みます。

生年月日は端末に保存される設計です。自分の星を見ることは、個人情報を外へ預けることなく、手元で自分の地図を開く行為として考えてください。

ここで大切なのは、結果を見てすぐに正解・不正解を決めないことです。星は「あなたはこうです」と断定するものではなく、「こういう面が出やすいかもしれない」と自分の感覚を確かめるための補助線です。

2. 5つの層で自分を見る

KITOKUは本命星だけで人を判断しません。人には、社会で見える顔、心の中の本音、自分では気づきにくい才能、立ちやすい舞台、さらに魂の響きがあります。

要素	何を見るか	初心者向けの覚え方
本命星	社会での出方・人生を動かす中心エネルギー	人前に出たときの自分
月命星	内側の本音・身体感覚・安心できる環境	心の中の自分
傾斜	水面下の才能・当たり前すぎて気づかない力	まだ自覚していない武器
同会	社会から求められやすい役割・引き寄せる縁	人生で立ちやすい舞台
納音	同じ九星でも違って響く個性の質感	魂の音色

本命星だけを見ると、「私はこのタイプ」と単純に見えます。しかし実際の人間はもっと複雑です。外では強く見えても、内側では静かな場所を必要としていることがあります。行動的に見えても、本当は安心できる環境がないと力を発揮しにくいこともあります。

自分の中の矛盾は、欠点ではなく「層の違い」かもしれません。KITOKUは、その複雑さを責めずに整理するための道具です。

3. 本命星と月命星を最初に見る

初心者には、まず本命星と月命星を見比べるだけでも十分に学びがあります。外側の自分と内側の自分が同じ方向を向いているのか、それとも少し違うのかを確認します。

視点	本命星	月命星
場所	社会・仕事・人前	内面・家庭・安心できる場所
見えるもの	基本エネルギー、表の顔、人生の動かし方	本音、幼少期の感覚、落ち着く環境
読み方	人からどう見られやすいか	自分が無理なく戻れる感覚は何か
使い方	仕事・役割・外での振る舞いを考える	休み方・整え方・自分の土台を知る

たとえば、外ではしっかり者に見られるのに、内側では繊細で疲れやすい人がいます。逆に、落ち着いて見えるのに、心の中では新しい刺激を求めている人もいます。これはどちらかが本物で、どちらかが偽物という話ではありません。どちらも自分です。

まずは「本命星＝外側」「月命星＝内側」と覚えてください。この2つを見比べるだけで、自分の扱い方が少しやさしくなります。

4. 傾斜・同会・納音で立体化する

本命星と月命星に慣れたら、次に傾斜・同会・納音を見ます。ここから、自分の読み方は一気に立体的になります。

要素	こんな時に役立つ	問いかけ
傾斜	自分の強みがわからない時	周りから自然にできると言われることは何か。
同会	仕事や人間関係の役割に迷う時	なぜか回ってくる役割や縁は何か。
納音	同じ九星の説明だけではしっくり来ない時	自分らしい響きや質感はどこにあるか。

傾斜は、自分では当たり前すぎて見えにくい才能です。人は楽にできることほど「普通」と感じてしまいます。同会は、自分そのものというより、自分が立ちやすい舞台を見ます。納音は、同じ九星でも人によって違う人生の響きを拾うための視点です。

KITOKUの読み方は、性格をひとことで決めることではありません。複数の層を重ねて、自分の輪郭を丁寧に見つけていくことです。

5. ネット占いと結果が違う理由

初心者が最初につまずきやすいのが、「他の無料占いと星が違う」という問題です。これはKITOKUが間違っているのではなく、年の区切り方が違うために起きます。

区切り方	考え方	注意点
元旦区切り	1月1日で年が変わる	無料サイトや簡易診断で使われることがあります。
立春区切り	2月4日ごろの立春で年が変わる	九星気学を含む東洋暦の基本。KITOKUはこちらを使います。

特に1月1日から2月3日ごろまでに生まれた人は、元旦区切りで見るか、立春区切りで見るかによって、前年の星として読むべき場合があります。ここがズれると、本命星だけでなく、その後の相性・方位・年運の受け取り方までズれる可能性があります。

1月初旬から2月初旬生まれの人ほど、立春の扱いを確認してください。KITOKUは東洋暦に基づいた計算を前提にしています。

6. KITOKUの4次元解析

4次元解析という言葉は難しく聞こえますが、意味はシンプルです。人をひとつのラベルで固定せず、複数の方向から見るということです。

次元	構成	読める内容
1次元	本命星のみ	同じ星の人を大きく一括で見る。
2次元	本命星 + 月命星	外側と内側の両面を見る。
3次元	+ 傾斜	潜在能力や隠れた才能まで見る。
4次元	+ 同会	社会での舞台、縁、今求められる役割まで見る。

人はひとつの性格だけでは説明できません。社会での顔、心の本音、無自覚な才能、時代や環境との接点。それらを重ねてはじめて、実際の行動や迷い、得意不得意が見えてきます。

4次元解析は、難しい理論を覚えるための言葉ではなく、「自分を平面的に決めつけない」ための見方です。

7. パーソナルレポートは取扱説明書

KITOKUのパーソナルレポートは、診断結果を眺めるだけのものではありません。自分の強み、今年のテーマ、これからの流れを生活に落とし込むための資料です。

項目	見えること
あなたという人	本命星のエネルギー、表に出やすい性質、声かけの処方箋。
名前が持つ旅路	姓名鑑定、五行、名前の持つ意味や響き。
今年のあなたへ	2026年のテーマ、今年やること、吉方位。
これからの5年間	2026年から2030年までの流れと年ごとのアドバイス。
香り・色彩処方箋	今年に合う香り、色、食材など生活に取り入れやすい整え方。
動くタイミング	買い物、契約、移動、引越しなどの判断材料。

最初に一度作って終わりではなく、節目ごとに見返す使い方が向いています。迷った時に、自分の現在地と次の一手を確認するためのメモとして扱うと、KITOKUは日常に馴染みやすくなります。

8. 星はラベルではなく羅針盤

この回でいちばん大切なのは、自分の星を固定された性格ラベルとして使わないことです。星は、あなたを決めつけるためではなく、自分の中にある感覚を見つけるための補助線です。

本命星は人生のエンジン、月命星は内なる本音、傾斜は見えにくい才能、同会は人生の舞台、納音は魂の響き。それらを重ねて見ることで、人はもっと丁寧に自分を扱えるようになります。

KITOKUは答えを教えるものではなく、自分で答えに気づくための鏡です。最終的な判断は、必ずあなたの手にあります。

最初の使い方	順番
1	生年月日を入れて、自分の星を表示する。
2	本命星と月命星を見比べる。
3	傾斜・同会・納音で、強みや舞台を足して読む。
4	立春区切りを確認し、他サイトとの差に迷わない。
5	パーソナルレポートで、今年の一手に落とし込む。

journey6112.jp